からの取

〈お問い合わせ〉役場 企画観光課 憩いの家係 阻(68)0015

設されました。 て「健康」「明るい生活」を送 ることで、高齢者が「安心」し 祉の増進を図ることを目的に建 れることを支援し、さらには福 よび交流機能を総合的に提供す 高齢者に対して介護支援機能お 村地域整備計画の一環として、 立野ダム建設に伴う旧長陽 南阿蘇村 長陽憩いの家」

その役割を担ってきました。 たり地域住民の憩いの場として にオープン。以降、12年余にわ の強い要望を受け平成13年4月 の予定でしたが、立野地区から 当初は立野ダム完成後に建設

減少していく利用者数

地域福祉の向上に貢献できてい プン当初は利用者の約半数を占 ち立野地区の利用状況は、オー ないのが現状です。 いましたが、年々減少しており、 める割合で利用していただいて 用者が全体の約4割で、そのう 現在の利用状況は、村内の利 総利用者数

> 4万1千人に減少しています。 万7千人をピークに昨年度は約 においても、平成18年度の約5 (下表参照)

より大変厳しい経営状態となっ 隣町村への温泉施設等の増加に 気低迷、不安定な世界情勢によ る原油価格の高騰、さらには近 また、歳出面では、長引く景

ラーの老朽化に伴う入替などに がったものの、昨年度はボイ にも取り組み、多少の成果は上 減(燃料費削減)などの改善策 なりました。 より、約2千万円の赤字決算と そこで、憩いの家では経費削

村決算監査においても毎年厳し い指摘を受けています。 このような経営状況を踏まえ

一今後の取り組み

設存続の意義を十分考慮しなが しては今後の運営に当たり、 以上のようなことから、村と 利用者へのサービスの充実 施

平成24

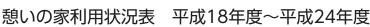
41,499

18,424

ます。 どのノウハウや経営手法を活用 り入れると共に、民間事業者な することも検討し、今後の施設 きます。そして地域の意見を取 利便性の向上さらには、 運営に活かしていきたいと思い 営経費削減などに取り組んでい 管理運

最後に

皆さんのより一層の施設利用を 域住民の皆さんをはじめ、村民 精一杯努めていきますので、地 お願いします。 これからも職員一丸となって



(単位:円) 総利用者数 村内利用者 1日平均 村内利用者 項目 歳入計 歳出計 赤字額 年度 (人) (人) (人) 割合 平成18 56,941 40,386 114 70.9% 13,173,404 26,201,902 **▲**13,028,498 13,098,681 28,917,097 平成19 55,998 38,865 110 69.4% **▲**15,818,416 23.200 55.7% 12,218,582 28,497,094 **▲**16,278,512 平成20 41,637 66 51.2% 10,956,533 24,729,829 平成21 40,473 20.724 59 **▲**13,773,296 平成22 43,512 21,682 61 49.8% 11,889,266 26,576,330 **▲**14,687,064 平成23 42,662 20,453 58 47.9% 11,890,439 27,479,788 **▲**15,589,349

44.4%

11,664,447

52

▲19,727,740

31,392,187